

春の暖かい空気に包まれ明るい陽射しに溢れた 3 月 15 日土曜日、東洋英和女学院大学大学院の学位授与式が六本木校地で行われ、人間科学研究科 25 名、国際協力研究科 4 名、計 29 名の修士課程修了生に学位が授与され、うち 2 名の修了生に長野賞が授与されました。

箕口窓香先生の聖書朗読・祈祷は、晴れてこの日を迎えた修了生を温かく見守るものでした。

星野三喜夫学長の式辞は、仕事と学問の両立を果たした修了生と学生生活を支え続けた教職員、ならびにご家族への敬意を述べられ、東洋英和女学院での学びは大きな翼であり、複雑化する情勢の中でも大きく羽ばたいて欲しいと励ましのお言葉を述べられました。

高橋貞二郎先生の祝辞は、マーティン・ルーサー・キング・ジュニアの言葉「闇に闇を追い払うことはできない。光だけがそれを可能にする」を引用され、東洋英和女学院での学びは、真実の神を敬い、人を隣人のように愛する「敬神奉仕」そのものであり、世の中を取り巻く課題への糸口となると述べられました。

修了生代表によるお礼の言葉では、東洋英和女学院での熱意と意欲に満ちた院生と切磋琢磨した経験、素晴らしい恩師のご指導、心温かい職員の支え、ご家族の支えを受けながらの学生生活は、想像を超えるものであったと学位を授与された事への喜びを噛みしめていました。

同窓会役員一同、東洋英和女学院の伝統と格式を再認識し、過去に学んだ修了生の一人として、大きな誇りを感じた素晴らしい一日となりました。

大学院同窓会